



議会だより

〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458
 議会事務局 TEL 0470-55-4804

第 109 号



統合後初の鋸南小学校運動会

は
や
わ
か
り

6 月定例議会		
9 億 7 千万の大型補正を計上	2	ページ
補正予算		
目玉は都市交流施設の工事費	3	ページ
一般質問		
小藤田・三国・鈴木・緒方の 4 議員	4~6	ページ
特集記事 (都市交流施設)		
大型事業に慎重な取り組みを	6~7	ページ
裏表紙		
参加しませんか ポールウォーキング	8	ページ

6月議会

9億7千万の大型補正を計上 一般会計予算総額は48億円台へ

6月定例議会は、会期を1日とし13日に開催した。町長提出議案は条例改正1件、工事請負契約の締結2件、平成26年度一般会計及び国民健康保険特別会計補正予算の合計5議案と、議員発議案として教育予算等に関する意見書2件が提出され、全議案を可決した。なお、一般質問は小藤田・三国・鈴木・緒方の4議員が質問席に立った。

税条例改正のほか 7議案を可決

税条例改正について

「鋸南町税条例の一部を改正する条例」は、地方税法の改正により、町税条例の一部を改正するもの。

改正の主なものは、法人住民税法人税割の税率の引き下げ（平成26年10月1日から施行）や軽自動車税の見直しなど。

見直しの内容は平成27年度課税分から標準税率を引き上げようとするもので、原付は90cc以下一律2千円、90cc超〜125cc以下・ミニカー・軽二輪・小型二輪については、標準税率を1

・5倍に引き上げるもの。

また、軽四輪車等については平成27年4月1日以後に最初の新規検査を受けるものから新税率を適用する。

B&Gプール改修及び 旧第一中学校舎解体

工事請負契約の締結については、契約額が5000万円を超えるものは議会の議決が必要となるもので、B&G海洋センタープール改修工事と旧第一中学校校舎等解体工事の2件の契約が承認された。「B&G海洋センタ



解体工事を行っている旧一中校舎

ープール改修工事」はポリカーボネート工法による内外装工事を行うもので、入札の結果、契約金額1億4040万円で落札した「東

海建設株式会社」と工事請負契約を締結するもの。

また、「旧第一中学校校舎等解体工事」は入札を執行した結果、契約金額5832万円で落札した「株式会社鈴木工務店」と工事請負契約を締結するもの。

教育予算に関する 意見書採択

「子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会」からの陳情を受け、「国における平成27年度教育予算拡充に関する意見書」及び「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」について、小藤田総務常任委員長が提出者、他4名の委員が賛成者として追加上程され、全員賛成で関係4大臣への意見書提出を決定した。

都市交流施設整備工事費や

大雪農業被害で大型補正

定例会の主な質疑

質問 都市交流施設については不明確な点が多い。なぜ今補正予算で8億9428万円もの事業費を計上しなければならないのか。

総務企画課長

本事業の補助金・交付金の対応については国からも早めの執行が必要と指導を受けています。また、生産組合等についても来年度の10月をオープンとして協議を進めています

一般会計補正の主要事業

6月補正予算は歳入歳出それぞれ9億7284万円を追加したが、そのうち都市交流施設整備事業費については、8億9428万円の追加補正となった。

内訳は、都市交流施設整備工事費8億6400万円の他、敷地現況測量委託費、地質調査委託など。

事業の財源は、一般財源と国庫補助金及び過疎債を見込んでいます。

また、被災農業者支援補助金5610万円については、すでに調査及び説明会は実施され、被災農業者11名から申請を受けている。

内容は今年2月の大雪による農業用施設の再建・撤去費用について支援を行うもので、一般会計補正予算については、賛成多数で可決した。

ので、遅れが出た場合、影響がある可能性があります。

質問 都市交流施設整備事業について、町長から決意の表明とも取れる発言があった。その中には「私に全ての責任がある」という言葉も入っていたが、それだけの覚悟を持っているのか。
町長 発言のとおり、私に全ての責任があるということとです。

質問 施設の運営について、成功・失敗のボーダーラインは。
町長 プラスマイナスゼロが、ボーダーラインだと思っっていますが、ある程度の間は支援が必要と考えます。

町長が発言

地域活性化への確信

補正予算上程前、町長より都市交流施設整備事業に関する決意表明が行われた。その中には「事業の責任は私が負うものだが、この施設は町民や地域活性化に必ずや寄与するものと確信している。町長として、強い意思と責任を持って、取り組んでいく決意がある」

との発言もあった。
※ 都市交流施設整備事業の詳細については、6・7ページで解説しています。

補正予算の主な内容

会計名	補正額 (補正後総額)	主な内容
一般会計	9億7284万円 (48億7738万3000円)	<ul style="list-style-type: none"> 議員報酬及び共済費の減 都市交流施設整備事業費 一般廃棄物処理施設整備負担金 大雪による被災農業支援補助金 第三分団消防ポンプ自動車購入費
国民健康保険 特別会計	97万2000円 (12億9333万3000円)	<ul style="list-style-type: none"> 事業報告システム改修委託費

総務企画課長 解体する建物は、旧一中の建物全てです。工事後の敷地については、平らに整地をする予定です。

ここがききたい



いっぱん

質問

交流施設

その後の進み具合は



小藤田 一幸 議員

質問 都市交流施設の管理運営方法はどのような形態になるのか。

町長 指定管理者制度を導入し、6月末日までに選定作業を終えたいと考えています。

質問 オープン後に町が負担する管理運営費及び収入はそれぞれ年間どの程度になると見込んでいるのか。
町長 昨年度に策定した実施計画では、施設全体の売り上げを3億7千万円と想定した上で、商業施設部分のテナント収入・支出を4500万円程度、収支はお

おむね均衡すると予測しました。なお、実際の管理運営費用については、現在進めている実施設計が整った時点で試算を示します。
質問 公募を実施した結果町民から出店希望はどのくらいあったのか。また、直売所の参加農家は現時点で何軒あり、年間の直売所売り上げをどの程度見込んで



三国 幸次 議員

質問 5月23日にシカやイノシシなどの捕獲を強化する改正鳥獣保護法が国会で可決された。これは鳥獣保護法の大転換と感じたが、

いるのか。

町長 鋸南町に本店を置く法人を含めて5つの事業者から申し込みがありました。直売所のアンケート結果は348名の有効回答のうち出荷希望者は46名、検討したい方は131名でした。売り上げの見込みは加工品などを含め年間1億円。全国平均は1人平均100万円なので出荷する農家数は100人程度を考えます。

質問 交流施設など町が行う事業について、町報などの広報誌で町民にわかりやすく紹介すべきと思うがど

うか。

町長 今後設計が終了し、直売所の組織化や事業者の選定などが進み具体化したら紹介したいと考えます。



直売所へ改築される旧保田小体育館

鳥獣保護法の大転換

広域ゴミ処理施設で住民と協定

町の有害鳥獣対策にどのような影響が出るのか。

町長 将来、担い手の高齢化等により、有害鳥獣の捕獲体制が維持できなくなる

ようであれば、専門の捕獲業者を導入することができるようになります。その反面、町の地形を知らない方が有害鳥獣対策に関わるこ



道の駅きよなん



現在稼働しているゴミ焼却施設

道の駅 2カ所の運営は難しい

笑楽の湯 温泉の魅力アピールを

となり、安全面などが危惧されますので、導入については十分な検討が必要だと考えています。

要望 県の電気柵に対する補助制度の復活を強く要望するとともに、町でも補助を増やしてほしい。

質問 安房地域のゴミ処理

施設の建設は、予定地域との話し合いが進展したようだがこれまでの経緯は。

町長 施設は、熱交換施設やリサイクル施設、最終処分場などの3つの施設を1カ所にまとめて建設する計画となります。建設用地は南房総市の千倉町大貫区に

お願いをし、5月26日には、「広域ごみ処理施設の建設等に関する基本協定書」の調印を行っています。

質問 今後の取り組みは。

町長 今年度より、環境影響評価及び施設基本計画策定等業務に着手しますが、平成32年度の竣工を目標と

しています。

要望 3つの施設建設は膨大なお金がかかると思う。鋸南町の将来的な負担を見越した財政運営を行ってほしい。

質問 観光は、鋸南町だけではなく、南房総全体で考えていかななくてはならない。近隣市との情報の共有・連携が必要不可欠だが、どの様に実施しているのか。

地域振興課長 南房総観光連盟という組織があり、その活動の中で情報の共有をしています。

質問 計画されている都市

交流施設を道の駅として申請するのか。

総務企画課長 申請することを考えています。

質問 現在ある道の駅と2つの施設を共存させていくことは大変なことだと思う。現在ある道の駅も計画的に整備していくべきだと思うが、町の考えはどうか。

町長 2カ所の道の駅を運

営していく考えなので、現在の道の駅も整備していかなければならないと思っています。

質問 現在、自衛隊の方々が笑楽の湯を利用しているが、どの様な方法で利用しているのか。

保健福祉課長 平日は、営業時間内に入浴しています。土日祝日は、午後6時まで

営業なので午後6時から8時ぐらいを目途に入浴しています。

質問 土日祝日の午後8時までの営業は、どのような勤務体制で対応しているのか。

保健福祉課長 職員1名がフレックスタイム制を導入し、対応しています。

質問 今回温泉を引いたので、あらゆる方法を取って利用者を増やす対策を行ってほしい。

町長 対外的に温泉であるということのアピールして、利用者の増につなげたいと思います。



鈴木 辰也 議員

雇用創出に

町長のトップセールスを



緒方 猛 議員

定住化を進めていく上で、まずは現に住んでいる方々が住み続けたいと思えるまちづくりや景観整備、産業の創出を図っていききたいと思えます。

点化も能動的な取り組みだと考え、まずは我々の町の魅力を対外的に発信していきたいと思えます。

質問 自治体経営の総合評価とも思える人口増減。日本創成会議は、鋸南町を「2039歳の女性の割合が2040年には10年比で▼70・1%と推計。県下3番目に大きい減少率で、将来自治体の運営は難しく地域が消滅する可能性がある」と公表した。これをどのよ

うに受け止めているのか。

る急激な人口減社会に入つた訳で、認識が甘いのではないか。交流人口増加対策や花木での観光支援なども

質問 県下一の若年女性の減少率と推計された栄町では既に「人口減対策プロジェクト」を立ち上げ、定住促進事業や通勤圏企業を回つてのPR活動を行っている。当町も勉強し、より能動的な活動を希望したいと思うが。

質問 近隣や過去に紹介した他自治体では、首長自らが『トップセールス』を行うと議会で明言をし、実績を上げている。企業誘致や雇用創出を望む声は大きい。そのための町長自らトップセールスを行うと表明してほしいが。

建設や花木による景観整備などの対策を行っています。ですが、小さな集落は都会に比べ地域のつながりが強い

ため簡単に消滅することは想像できません。

町長 交流人口と定住人口の推移に一致した効果は現れておりません。しかし、

町長 保田小跡地の交流拠

町長 必要であれば、トップセールスをしたいと思えます。

質問 日本が初めて経験す

る

町長

町長

町長

大型事業に慎重な取り組みを

特別委員会
質疑報告

設計への意見

質問 県道から駐車場への出入口が1カ所というのは、動線的にはマイナス面が大

きいが、計画の変更はできないか。

答 土木事務所との協議の結果、進入路は1カ所となりました。搬入路について

は、別の形態も検討していません。

質問 お風呂とは別に簡易なシャワー施設があれば。

答 財政的観点から、資材

答 これは将来構想ですが、各省庁からいろいろな補助金が出ていますので、活用できればオープン後に設置す

整備



着々と進む都市交流施設の

議員全員で構成する「小学校跡地等利用検討特別委員会」は、これまで11回に及ぶ会議を重ねて町の提案の対して協議を行ってきました。そこで、5月・6月に開催された協議会で協議された様々な質疑や要望の概要をお知らせします。

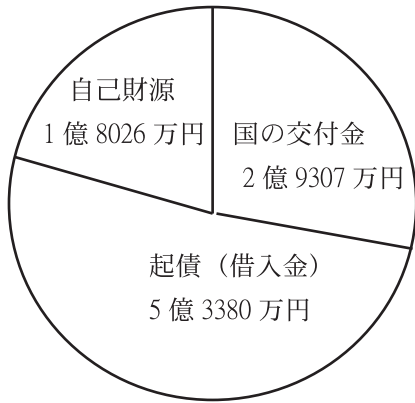
(資料1)

都市交流施設整備事業の事業費の見込み (3カ年分)

年度	事業内容	事業費
平成24年度	事業計画策定費	699万円
平成25年度	小学校施設改修設計・調査費	4820万円
	交流施設運営に係るソフト事業費	2817万円
平成26年度	事務費	230万円
	小学校施設改修関連調査費等	399万円
	小学校施設改修工事・監理費等	8億9208万円
	交流施設運営に係るソフト事業費	1170万円
	事務費	1370万円
3カ年の事業費計		10億713万円

ポイント この事業は、保田小を再生し都市交流拠点としての活用を目指しています。国の農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を受け、平成28年度までの5カ年間で計画総事業費は12億6千万円見込んでいます。

資料1の財源内訳(10億713万円)



ポイント 起債(借入金)は、町に有利な過疎対策事業債とします。将来の返済金の70%が国からの交付税として含まれるためです。

る可能性もあります。

37万人の集客を見込む

質 集客数と収支の見込みは。

答 実施計画を策定した結果では、年間の集客を37万人・施設全体の売り上げを3億7千万円と見込んでいます。商業施設部分では収支は均衡し、情報窓口・子ども広場などの非営利部分は800万円程度町からの

補てんを見込んでいます。

質 テナントに出店を申し込んでいる方々の業種は。

答 提案内容は宿泊・飲食・物販があります。

質 テナントの家賃は定額制ではなく、最低家賃を設けた歩合制という募集内容だったと思う。不安定な収入の要素があることは管理運営事業者にとってマイナス面だと思うが。

質 町がどこまで行うのかまだ決定していないため、今後協議していきます。

質 6月議会で工事費予算の可否を判断する前に管理運営事業者や指定管理料が決まっているべきだと思いが。

答 今後管理運営事業者を選定し、指定管理料についても協議していきます。工事の進捗と同時に進めていくような状況もあります。

直売所で1億円の

売り上げ期待

質 直売所への農産物供給能力は。

答 現状の野菜作付け面積で1億円程度が期待できるという試算があります。

質 観光客の他、地域住民が日常的に利用できるような施設にしようという考えは。

答 出荷組合設立準備委員会では、農産物の他にも仕入れる商品を充実させていくよう議論を行っています。

質 房総の道の駅には、魚介類の取り扱いが期待されると思うがどうか。

答 テナントなどの食材として地域の水産物が利用できればと検討しています。

質 農業者の平均年齢は70歳を超えていえる。今後農産物の生産は難しいのでは。

答 地域の取り組みや出荷組合の話し合いで、生産量を維持することが可能であると考えています。

参加しませんか

ポールウォーキング

今、介護保険認定者の半数以上が認知症です。

その対策として保健福祉課では、平成17年度から町内19カ所で住民主導型の認知症予防教室に取り組み、参加者も高齢者人口の13%に上っています。

しかし、東日本大震災の折「避難所まで歩けない」という声が住民の方から寄せられ、命を守るために思いついたのがポールウォーキングです。

ポールウォーキングはポールを両手に持つだけで背筋が伸び、左右のバランスが取れた正しい姿勢になります。

上半身についても活発に動かすことで全身運動となり、通常のウォーキングと比較して20%から30%の運動効果の増加が見込まれ、

下半身は大きな筋肉を使うため、脳の血流を促進し認知症予防効果も期待できるようです。

ポールウォーキングは毎週月曜日(第3週を除く)13時半から15時に、すこやかで実施しています。



問い合わせ：鋸南町地域包括センター (☎50-1172)

議会の日誌

5月9日 議会運営委員会

5月16日 平成26年第2回臨時議会及び小学校跡地等利用検討特別委員会協議会

6月3日 議員全員協議会及び小学校跡地等利用検討特別委員会協議会

6月6日 議会運営委員会

6月10日 小学校跡地等利用検討特別委員会協議会

6月13日 平成26年第3回議会定例会

6月27日 議会広報特別委員会

編集後記

『カエルを水に入れて徐々に温度を上げると、危険を覚悟できずに死んでしまう』これは、緩慢な変化がはらむ危険の警鐘としてよく使われるたとえです。

鋸南町は国勢調査によると人口減少率が県下1位で、高齢化率は県下2位です。独居老人の数もこの2年で80人も増えています。

このまま人口の減少が進めば集落維持ができなくなる限界集落どころか、最近日本創成会議が公表した「全体の49.8%の自治体が消滅する可能性がある」という人口推計が現実味を帯びてきます。

そうならないためにも、活力あるまちづくりを力を入れ、介護が必要になっても安心して暮らせるように福祉政策にも力を尽くしていきたいと思えます。

小藤田